

豊陵會報

Vol. **104**

2021年6月
(令和3年)

光



記念の式典終わる
創立100周年記念特集

創立100周年記念式典を開催

緊急事態宣言、映像配信を使う

5月7日(金)、豊中高校校舎内にて創立100周年記念式典が挙行された。世の中の情勢は昨年から続くコロナウイルス感染拡大のため、3回目の緊急事態宣言が発令されており、依然として好転しないままだが、「校内限定」「無観客」の前提に対応して感染対策をしっかりと施した中で予定のプログラム通りに進行する、という工夫での開催となった。校長・実行委員長の挨拶と生徒の出演は同時配信で放送。他は録画配信の出演だった。

メインスタジオは体育館。ステージは広い体育館の正面寄り、半分のスペースを使用し、出演者のソーシャルディスタンスを保つ。後ろ半分のスペースにカメラなど校内送信の機材を配置して吹奏楽部・ダンス部の演目を同時配信した。

体育館入り口の右手前には臨時の「正面舞台」を設置。金屏風を立てかけて「大阪府立豊中高等学校創立100周年記念式典」の横幕。演壇の両脇には国旗と校旗、右手には胡蝶蘭を飾って放映用の撮影舞台装置は万全。入口反対側にはもう一台のカメラが司会者の動きを捉え、平野校長・高坂会長(百周年事業実行委員長)の挨拶を同時配信した。

全校生徒は記念事業の教育機器新設で設置されたプロジェクターで各教室での視聴参加。実行委員会の出席メンバーとクラス担任のない先生方が、これも記念事業で新設された豊陵ホールで視聴参加した。本番の挨拶に「出演」する高坂・実行委員長(豊陵会会長)は礼服装で呼び出しが来るまで待機である。

◆プロローグ

開会を飾るダンス部の演技

開始時刻前、豊陵ホールの正面スクリーンには体育館での準備の動きが映っている。みんな開始事項に追われ慌ただしく動いている。

13時10分、いよいよ開式。4人の生徒が司会を務める。「豊中高校100年のあゆみ」を振りかえる映像が静かに映し出される。振り返れば100年はあつという間の時間でもあった。

続いて体育館で実際に舞うダンス部による華麗なオリジナルダンスの演技。マスクをしながらの激しい動きに目を見張る。開演に花を添える出来栄であった。

◆式典

在校生4人の司会進行

司会進行は4人の在校生。プロアナウンサーの高37古川圭子さん

から事前の指導を受けている。まず藤縄教頭(総務部会長)が開会の言葉。吹奏楽部金管隊によるファンファーレ・君が代の演奏により、大阪府立豊中高校100周年記念式典の開式となった。

主催者挨拶として、平野校長・高坂実行委員長がともに創立100年を祝い、この式典を開催出来たことへの感謝の言葉を述べ、今後の一層の発展を期する決意を述べた。

続く来賓挨拶は映像で配信された。橋本正司・大阪府教育委員会教育長、長内繁樹・豊中市長からお祝いの言葉とこれからも地域とともに発展する期待が述べられた。最後に在校生代表・高田一弥さん(3年・令和2年後期自治会会長)が、豊高生の持つ高い志・主体性・共同性が歴史と伝統から

培われたものだと挨拶し、これからの決意を述べて式典は無事に終わった。

◆記念演奏

ビデオの演奏に拍手

みんなが楽しみにしていた卒業生・3人の音楽家による記念演奏も事前録画の映像の配信となり、それぞれが100周年のお祝いを述べた後、在校当時の思い出や後輩への期待を語った後演奏が始まった。

チェリストの高54辻本玲さんは高校時代の音楽の授業で歌ったベートーヴェンの第九が今でも毎年NHKホールで演奏することとなる縁のある曲だとコメントし、「サン・サンス 白鳥」「ガブリエルのオーボエ」を演奏。フルートの高67尾崎勇太さんは吹奏楽部時代の思い出を、まだ豊



高を卒業したばかりという感じの後輩に語り、自ら作曲した「Letter」を演奏。ユーチューブで演奏活躍の画像を映し出した。

ピアノの高43大澤美穂さんは、豊高時代は音楽よりもスイーツに惹かれ、おけいこのたびに頂けるお茶菓子目当てに入部した茶道部のエピソードを語り、ドビュッシー作曲の「金色の魚」を演奏した。演奏が終わってホールでも思わず拍手が沸いた。

◆記念講演

村上さんがアフガニスタン・中村医師の偉業を伝える

休憩時間ののちは高20村上優さんの記念講演も事前録画の放映。「天、共に在り」と題して、2019年アフガニスタンの現地



ブルドーザーを運転する中村医師



中村医師の活動の跡をたし出した。前置きして話になった、と

で武装勢力の襲撃を受けて亡くなった中村哲医師の功績をスライドも使用しながら分かりやすく語った。(左上の写真)

同氏は現在、アフガニスタンでの医療活動を支援する目的で結成された「ペシヤワール会」会長であり、中村哲医師が率いていたPMS (略: Peace (Japan) Medical Services) の総院長を引き継いでいる。

講演の始めに村上さんは、今でもそうだろうが豊高から西の方角の大学を目指す人は少なく、九州大には3人が入学した。そこで山岳部に在籍し、中村さんとのつながりが始まり、登山を通じて紛争

中の国々の事情を知ることになった、と

「ペシヤワール会」は今なお進行する大干ばつのなか灌漑水利事業に重きを置いて、現在はガラエヌール診療所、農業事業、

どると、最初はアフガニスタン東部の辺境ペシヤワールにハンセン病治療の医師として赴任したが、病気の背景には続く戦乱や慢性的な食糧不足と栄養失調があることを知り、自力で率先して活動の輪を広げていった。

まず十分な水。衛生面の向上。医師でありながら井戸を掘る。医師でありながら井戸掘りを研究し、地元民の協力を求めながら村々に何本もの井戸を完成した。

井戸は点。次は面としての水の還流。故郷・九州の古い土木工法を研究して、地元の人と協力しながら人力で灌漑施設を完成した。岩の多い同地では石工経験者が多く、土手の建設も意外とはかどったという。

さらにこの水の流れを利用して農業の確立。水の堰止めと取水の技術は中村医師の故郷に江戸時代から伝わる工夫を活用したという。

砂漠化した農地の改革が急務だと判断してからコソコソと事業を積み上げ、戦争以外の農業で生活ができるようになった。これを知ったアフガニスタン大統領自らペシヤワールを訪れ、中村医師らを顕彰した。中村医師はいつの間にか、「医師」「土木技術者」「農業指導者」に変身していた。



「ペシヤワール会」は今なお進行する大干ばつのなか灌漑水利事業に重きを置いて、現在はガラエヌール診療所、農業事業、

灌漑事業、訓練所でのPMS方式取水技術の普及活動に尽力している団体。

講演は、本校卒業後、九州大学医学部で中村哲医師と出会い、銃弾に倒れるその日まで親交深い村上優さんから見た、中村哲医師の功績を語る講演だった。終って司会者の「村上先生に盛大な拍手を」という呼びかけに豊陵ホールや各教室からも拍手が聞こえてきた。

◆記念の大会曲
力強い「凱旋行進曲」

ファイナルは、ふたたび体育館からの生中継。G・ヴェルディ作曲の「アイーダ 凱旋行進曲」の大合唱。福野勝久先生(理科)の指揮で吹奏楽部が演奏し、手代木先生指導の音楽授業選択者170人が体育館いっぱいに広がり、マ



教室の放映で式典参加した生徒の声

どんよりとした空から細い雨が落ち始めた。しかし体育館では式典関係者はじめ、放送設備の人たちが時間に追われながら最後の準備をしている。

生徒たちはリモート参加。各教室で式典放映の開始を待った。いつもの授業が始まるのと同じ風景である。

式典が終わって生徒たちの感想

- ・尾崎さん(フルート)はよく知っているので楽しく聞くことができました。
- ・辻本さんのチェロ、大澤さんのピアノはよかった。
- ・(中村医師が)4年間でアフガニスタンに緑をもたらしたのはすごいと思った。

瞬間だけマスクを取って記念写真に臨んだ。

翌5月8日付読売新聞地方版に「豊中高校100年式典 中継で」との見出しで式典記事が掲載された。

(古澤 頼秋)

白秋作歌・山田耕稼作曲の「大阪府立豊中高等学校校歌」の映像と歌を配信し、参加者一同は声を出さずに、心の中で歌い100周年記念式典の幕を閉じた。

すべてのプログラムを終えて関係者は豊陵ホールに集まり、その

◆エピソード
心の中で校歌を歌う

記念式典最後の演目は、豊中高校で100年間歌われてきた北原

スク姿で合唱した(指揮は音楽科・手代木佑衣子先生)。体育館でソーシャルディスタンスを保ち感染対策を十分に行われた合唱だった。

豊中高校100年式典 中継で」との見出しで式典記事が掲載された。

(古澤 頼秋)



「無観客」の記念式典を終えて

式典部会長

須賀寅充（高16）

令和3年は年が明けてからというものの、祝賀会の中
止、豊中市立文化芸術センターでの記念式典を無観客実施へ予定変更、そして極めつきは大阪府の緊急事態宣言でセンターの休館が決定。新型コロナウイルスに押されっぱなしの三連敗、式典部会は土俵際に追い詰められ、本番まであと2週間余りを残すのみであった。しかし、来賓挨拶、記念講演、記念演奏会

まさに“風と光”が輝いた！
—質実剛健、協同進取に支えられ—



前を伝える。5・4・3・2・・・吹奏楽部による最初のスライド映写のBGMの演奏が流れ始めた。それに続くダンス部の華麗なダンス、そして本日の司会進行役の4名にアナウンス開始のキューを伝えた。式典は滑らかにスタートし始めていた。

この後の展開は台本の通りの進行。第6部の体

は急遽動画などの提供を頂き、本番は体育館を舞台に在校生によるパフォーマンスの実況を各教室と豊陵ホールへ配信と決定。中継担当の放送芸術学院の学生たちと講師、10数名がライトバン2台に機材を積み込み本番前日の午後来校、早速設置にとりかかり体育館1階から2階入り口はテレビスタジオに早変わり、短時間のリハール。そして迎えた本番当日、体育館は午前中の授業使用が終って本番まで約1時間、リハールもそこそこに第1部プロローグの開始を伝えるキューを出さねばならない。目を閉じ、大きく深呼吸。調整担当のチーフに本番5秒

育館での吹奏楽部の校歌の伴奏と大合唱が終わり、司会進行役4名の中の代表生徒が締めめの挨拶を終え全員深々と一礼をした時、華やかな大ホールのステージではなく、舞台照明もない質実な体育館であったが、皆と心と力を合わせて自からやり通していく豊高魂を見せてくれた後輩たちに目頭は熱くなっていた。私はまさに、現場に「風と光」が輝いていたことを感じていたのだった。

録画でのピアノ演奏

大澤美穂（高43）

この度は、100周年記念式典のご成功を心よりお慶び申し上げます。

在校生の皆様などに、実際に演奏をお聴きいただくことが出来ず残念でしたが、当日に向けて、辻本さんや尾崎さんと和気あいあいと練習出来たことは、いい思い出です。式典では、演奏動画と一緒にビデオレターをご覧いただくことになり、改めて高校時代を振り返ってみまし

たが、沢山の経験が出来た素晴らしい時間であったと幸せに思っております。

今回は、コロナの感染拡大の中で式典をご準備された先生方、委員会の皆様の大変なご苦労を感じながら、同時に、豊高を大切に思ってお気持ちも強く伝わってまいりました。これからも豊高が多くの人に愛され、ますます発展し続けますよう、心よりお祈りしております。

「祝賀パーティ」の司会進行役は
パーティ中止で出番なし！

これが当たり前に
ならないように
豊友会 桂 枝女太

「ただいまより、豊中高校100周年記念祝賀会を始めさせていただきます。司会はPTA会長として豊高にご縁をいただきました桂枝女太です。よろしくお願いたします」

祝賀会での司会者のオープニングの挨拶。落語だけでは食っていけなかった若い頃はこのようなパーティの司会などで食いつないでいた。パーティの司会なんて何年ぶりやろ、そんなことを思いながらホテルとの交渉

や案内文を作るお手伝いをさせてもらっていた。

それが・・・あつげなく。コロナで世の中が変わったというが、祝賀会の中止だけでなく、式典までオンラインで。これがコロナが変えた新しい形なのか。こんな人と人との繋がりが温もりを感じない形がコロナ後の新しい世界であっていいはずがない。

コロナはいつかは必ず終息する。そのあとの世界は以前にも増した温もりのある世界であってほしいと願います。

与えられた仕事を全うできなかった者のばやきでした。

（平成14年度PTA会長）

ご存じでしたか？

トヨチュウ・豊高の卒業生数

▼総卒業生数 旧制中学=4,911名（男子生徒のみ）。新制豊中高校（2020年卒業まで）=32,093名（うち男子生徒=17,143名、女子生徒=14,680名）。総合計=37,004名。

▼女子卒業生徒の方が多い年度=2004年（女子167名・男子160）、2007年（女子167・男158）、2012年（女子181・男子177）、2015年（女子178・男子173）、2016年（女子184・男176）、2020年（女子182・男173）。

【「創立100周年記念誌」から】

この熱意を次代に引き継ぐ

豊陵会会長・
記念事業実行委員会会長

高坂敬三（高16）



豊陵会では豊中高と共により100周年記念事業実行委員会を立ち上げ、今年創立100周年の記念事業の実行に取り組んで参りました。しかし、新型コロナウイルスの流行という災厄に遭遇し、緊急事態宣言下で思い通りの活動も出来ないまま試行錯誤を繰り返す毎日でした。

記念事業の総仕上げともいえるべき5月7日の記念式典も、本来であれば豊中市立芸術文化センターで賑々しく行う予定でありましたが、母校の体育館と各教室をオンラインで結ぶ動画配信とい

まさに感無量です

同窓生校長として

100周年事業に関わって

第22代校長

平野裕一（高32）



このたび、母校の創立100周年記念事業を終えるに当たり、校長として豊陵会の皆様にお礼とご報告を申し上げます。

本事業への取り組みを始めたのは、豊中高に校長として赴任した翌年の2017年に遡ります。同年8月、豊陵会・豊友会・PTA・学校の代表が一堂に会し、記念事業実行委員会の前身である記念事業準備委員会が組織されました。

当時の資料には、私の記念事業に対する思いが

う方法で行うことを余儀なくされました。しかしながら、実行委員会の皆さんの創意と工夫のおかげで、在校生のパフォーマンスに加え、ベシヤワール会会長の村上優さん（高20期）の講演、大澤美穂さん（高43期）のピアノ、辻本玲さん（高54期）のチェロ、尾崎勇太さん（高67期）のフルートという三人の豊高出身の著名アーティストの演奏を動画配信で視聴することになりました。それぞれの素晴らしい講演や演奏に加え、在校生へ送られた心暖まるメッセージには大変感動致しました。

なお、募金活動については別途詳細なご報告があるかと思いますが、お蔭様で当初の目標の1億円を達成する事が出来ました。このうち特定寄付では豊陵ホルルの全面改装と電子機器の設置を実現する事ができ、また台風で倒れた校門脇のヒマラヤ杉の二代目の植樹も終わりました。一般寄付は奨学金へ回す事などを検討しております。また、記念式典に先立つ行事としてコロナ禍ではありましたが、17期卒業生の加古隆さんのピアノソロンサートを開催することが出来ました。再々延期したにもかかわらず卒業生を始め多くの方にご来場いただき、素晴らしい演奏に酔い痴れるとともに曲の合間に語られる彼の母校愛に満ちたコメントは沢山の卒業生の方々の共感を呼びました。この演奏会を企画、進行いただきました17期の廣瀬純さんの献身的なご尽力に感謝致します。

また、100周年記念誌が完成致しました。大部なものとなりましたが、素晴らしい出来栄です。偶々、私は100周年という節目の年に会長を務める巡り合わせになりました。100周年を指して結集いただきました豊陵会員の皆様の熱意を確実に次代に引き継ぐのが私に課せられた最後の役割です。

記されています。それは、「豊高生・豊中生！大正・昭和・平成・令和1時代を超えて『全員参加』の100周年」というキャッチフレーズに集約されています。このフレーズは、同窓生の皆様方をはじめ、在校生、教職員、PTA（OB・OGを含む）など、時代を超えて豊中高校にご縁のあった方々が、この事業に多様な方法で参画していただき、100年の歴史を振り返り、未来の豊高生への応援をしていきたいという思いを込めたものでした。

豊陵会の皆様方を中心に、多くの方々からご寄付が寄せられ、その資金を基に、豊陵ホルルの改装、全教室へのプロジェクト設置、教科準備室の環境整備（学習コンサルティングルーム）、豊高教育基金の設立、記念誌の発行、ヒマラヤ杉の植樹等を通して、この思いを実現することができたと思っております。これもひとえに、豊陵会の皆様方のご理解・ご支援の賜物です。心より感謝を

も裏切り返さないなどの言葉が印象に残った。「中村哲医師と村上さんと先輩・後輩関係が素敵だ。」、演奏に対して「生で聞いてみたい。」「世界的に活躍している先輩がいることに誇りを感じる。」「等の声が上がります。感銘・感動を呼び起こしたことを報告いたします。

豊陵会のご協力をいただきました。式典全体の構成をご担当いただいた須賀寅充豊陵会副会長様、ご講演をいただいた高20期の村上優様、素晴らしい演奏とメッセージを寄せていただいた高43期の大澤美穂様、高54期の辻本玲様、高67期の尾崎勇太様、司会を担当した生徒をご指導いただいた高37期古川圭子様、ありがとうございます。当日動画を視聴した生徒からは、ご講演に対して「一隅を照らす・違いに優劣や善悪をつけない・裏切られて

5年間にわたる本記念事業は、高坂豊陵会会長を実行委員長として、豊陵会の全面的ご支援により成功裏に終えることができました。わたくしは、記念式典の式辞において、「本日この日を迎える事ができたことは感無量です。」と述べようとしたのですが、感極まって言葉に詰まってしまいました。豊高卒業生の校長として豊陵会の皆様方に支えられ、微力ながら本事業に関わることができたこと、そして、温かく同窓生校長を見守ってくださった豊陵会の皆様方に重ねて感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

「募金1億円」を達成

純募金額に豊陵会事業積立金を抛出

2019年3月、全国23,000人の会員ならびに現旧教職員、PTA、豊友会会員に「募金趣意書」を送付して開始された母校創立百周年記念募金は期日の2021年2月末日で締め切られた。同日までの受付額は約8,600万円。

「コロナ禍」の影響もあって終盤の追い込み活動が制約されるなど、思うにまかせない状況もあったが、これに豊陵会の事業積立金からの抛出により1億円の目標が達成された。

さらに「加古隆ピアノ・ソロ・コンサート」の収益金、「百周年誌」販売の収入などの「未計上債権」を加えると1億円

を超える金額になり、高坂実行委員長(豊陵会会長)・平野校長はそれぞれ感謝の言葉を豊陵会報などで述べた。

▼2021年2月末の募金実績

- ・特定寄付 5,760万円 (1,876件)
- ・一般寄付 2,820万円 (2,827件)
- ・合計 8,580万円 (4,703件)
- ・豊陵会事業積立金抛出 1,420万円

「豊陵ホール」設計等委託費含む(記念事業の清算収支報告書は次号の会報に掲載します。)

教育施設の充実計画は 予定通り完成

募金は母校の教育施設拡充に充てることを目標に、計画を府教育庁・大阪国税局に提出して税額控除の対象となる「特定寄付」6,000万円の達成を重点にスタート。募金期限の2020年2月末までにほぼ達成。「豊陵ホール」の開設など施設充実は予定通りに完成したが、「教育基金」の設立のほか、記念式典・祝賀会開催、「百周年誌」発行などのための「一般寄付」4,000万円の動きは「コロナ禍」とともににぶつかり伸び悩んだ。特に「三密の回避」のため豊陵会幹事会・評議員会の開催が制約され、各期の同期会の開催もままならず、関係者に状況を伝え、呼びかける機会を失ったことが響いた。募金額が

独自で1億円に達しなかったことを残念がる声がある一方で、純募金額が8,600万円に届いたのは立派なことである、との評価意見もあり、いろいろの意見を残しつつ2年間に及んだ「創立百周年記念募金」活動は幕を閉じる。

なお、募金活動は区切りをつけたが「教育基金」への寄付は継続しており、百周年にあたる2021年度については「百周年の活動」が続く。

1万円以上寄付者名を銘板に

「特定寄付」「一般寄付」を通計し、2,000名を超す1万円以上の寄付者のお名前を「豊陵ホール」に設置の「寄付者銘板」に刻み込む。

「寄付者芳名録」を発行

百周年記念事業実行委員会は募金の締め切りとともに全寄付者のお名前を記した「芳名録」を発行し、この豊陵会報に同封してお届けしました。

創立百周年の式典に合わせて記念祝賀会が開かれる計画を前提に、2021年の豊陵会総会は開催を秋に変更していたが、コロナ禍の厳しい情勢のため、今年も開催が無理な事態になっている。昨年の総会はコロナ禍のために5月開催を10月に延期したが結局は開催中止となり、同日には幹事・評議員会を開き「加古隆ピアノ・ソロ・コンサート」開催を3月12日に再延期するなどを決めた。その時点では、今年5月の記念祝賀会の成功に向けて豊陵会会員の多数参加を呼びかけ、自身の総会を秋に延期することになった。しかしコロナウイルス感染症拡大の情勢は好転せず、懇親会が

総会、今年も開催困難か コロナ禍、懇親会ができない

主役になる総会の開催は無理な状況になった。

総会の開催を担当する豊陵会執行部はまだ公式な見通しを立てていないが、百周年の各事業の整理や総会開催の事前準備を考慮すれば、2年連続の総会中止が濃厚となった。

東京支部総会を中止

東京支部は今年の総会開催を取りやめた。2年連続の中止となった。

中部支部は「検討中」

例年11月に「名商グリル」で開かれる今年の総会について中部支部は開催の可否について検討中である、との報告が豊陵会事務局に寄せられた。

年度第1回の役員会

1月19日17時からホテルアイボリーのオーキッドホールで開かれた。高坂会長はじめ豊陵会の執行部役員が出席。「三密回避」対策のため、広い会場に間隔をあけての座席配置。ホテルの営業終了時間19時までに合わせて議事が進められた。

- ①豊陵会の一般会計ならびに記念事業特別会計について令和2年度決算報告、同3年度の予算案が承認された。
- ②ついで百周年記念事業募金の現況

会議の開催は「書面報告」で

2月の幹事・評議員会、決算・予算など承認

例年2月に開催される年度第1回の幹事・評議員会議はコロナ禍で集合開催が不可能なため、書面による報告・承認を得る形式となった。

2月24日付で高坂会長から幹事・評議員に「令和3年度豊陵会第1回幹事・評議員会の開催に替えて」と題する書面が送られ、2020年度「事業報告」

が報告され、「一般寄付」の状況から見て豊陵会記念事業特別会計からの支援拠出額の見通しが報告され承認された。

③5月7日記念式典の準備状況と3月12日に開催予定の「加古隆ピアノ・ソロ・コンサート」のコロナ感染症拡大防止の対応について担当部会から報告があった。

以上の結果、現状では2月の幹事・評議員会開催は困難と想定し、書面報告にすることも確認された。

「決算報告」「会計監査報告」、2021年度の「事業計画」「予算案」が同封され、承認を求めた。

これにあわせて「百周年記念事業」募金活動の状況にも触れ、目標額に届かない資金について不足額を豊陵会の「記念事業特別会計」から支援支出することの承認を求めた。

また新評議員に高34小林柚香里氏の選出を報告した。
【決算・予算一覧は23ページに掲載】

親睦ゴルフコンペも中止？

母校創立100周年と第20回を迎えることで関係者が開催を意気込んでいた恒例の豊陵会親睦ゴルフコンペは、コロナ禍の勢い収まるところが知れず、開催の判断を6月まで先送りすることになった。

昨年10月1日開催予定の第19回豊陵会親睦ゴルフコンペ(花屋敷ゴルフ倶楽部・ひろのコース)は、コロナ禍の影響で中止となったが、2年連続で開催が見通せない状況にある。

開催あるいは中止の決定は「豊陵会ホームページ」に改めて掲載する。「開催の場合は奮っての参加をご参加ください」と主催関係者は願っている。

「百周年事業」このように完成

足かけ3年にわたって進められてきた「創立百周年事業」は、予算と時間とのせめぎあいの中で、関係者の協力で予定通り完成した。

「豊陵ホール」多目的に活躍

百周年記念事業の一番の「目玉」だった「豊陵ホール」は設計内容の検討・予算の見積り・夏休みを挟み何度も現場で協議を重ねた末に完成。2020年8月25日から始動した。食堂のスペースを活用して討論型・研究型・対話型と、多様な学びが可能な施設として映像・音響機器を設置、すでに多目的に利用されている。お披露目を兼ねて2020年10月25日の豊陵会幹事・評議員会議がこのホールで行なわれた。



現・旧2つの校歌レリーフ

本校の「文化遺産」とさえもいわれる北原白秋作歌・山田耕柞作曲の校歌レリーフが2か所に設置された。新設の「豊陵ホール」の正面左側に旧制豊中中学校校歌のレリーフが、右手には豊高の校章レリーフが飾られた。校歌レリーフは総務部会の手で白秋の自筆歌詞と耕柞の自筆譜面とが複製再現され、その下に校歌制定の由来の説明も加えられている。

体育館には今の校歌歌詞が

体育館正面左手の壁には現在の校歌2番までの歌詞が大きく掲げられた。いずれも実行委員会総務部メンバーの苦心の作品である。



教室に

視聴覚機器の設置

各教室に液晶プロジェクター、パソコン、教材提示カメラを設置して、授業での多彩な資料の提示と生徒からの積極的な情報発信を可能にした。コロナ禍のリモート授業で能力を発揮した。



未来への成長願って

樹齢90年を超え、わが校のシンボルとして校門左側にそびえていたヒマラヤ杉が2018年9月4日の台風21号で倒壊した



ヒマラヤ杉2世の植樹祭
高坂実行委員長と平野校長

が、その同じ場所に「ヒマラヤ杉2世」の苗木が百周年事業の一環として植樹された。大川・記念事業部会長（高16）のもと予算・植樹時期が検討され、造園に詳しい湊・部会員（高16）の肝いりで苗木・業者の選定が進み、2月27日の植樹祭となった。

教科準備室に空調設備など

生徒たちが教科準備室に入出入りして、教科担当者から直接の指導や助言を受けやすくするため、教科準備室の整備として空調設備、テーブルやパーテーションを新設した。



「創立100周年記念誌」刊行

豊陵会事務局に納品された「百周年誌」

2018年9月の第1回編集会議からスタートした「創立100周年誌」記念誌部会高田裕文副部会長（高20）。國友奈美・編集統括（高32・国語科教諭）は、記念誌編纂としてはじめて学校・豊陵会・PTA・豊友会4者の共同編集メンバーでスタート。途中、先生の人事異動などでメンバーの入れ替りがあったものの、企画・執筆・校正作業が進み、記念式典の予定日5月7日付で発行された。表紙は高18飯田誠さんが「豊中高校100年の歴史、さらなるこれからのあゆみ、そして我々を育てくれた北摂の風光への賛歌」をイメージした画で飾った。資料編とともに全303ページ。1冊送料ともで5,500円（直接受取りは5,000円）。高田副部会長は広く会員に読んでいただきたいと呼びかけている。



訂正のお願い

目を皿のようになって校正をしましたが大きなミスが見つかりました。「百年誌」を求めていただいた方、お読みいただく方には次の訂正をお願い致します。

▼298頁教職員一覧 2020年～着任の菊池駿先生（数学）の氏名を誤って「菊地」として印刷しました。お詫びして訂正いたします。

「百周年記念事業」の区切りがついて

コロナに振り回された百周年事業だったが、みんなの知恵と行動が結実して、目標を達成することができた。実行委員会の重責を終えた感想を述べていただいた。

多くの「やれ石」のおかげ

募金担当副会長

三木俊博（高20）

一昨年の秋には一般寄付4、000万円が目標を「さざれ石を以って巖となす」構えで取り組みたいと申し上げた。

しかし、昨年春のコロナ禍の下、前に進むにも進めず。一旦沈静化した昨年秋季に、これからと「支える会」を発足させて有志の会員と動き出したものの、今年の年初からのコロナ禍まん延でまた足元を掬われることに。

頑張った2、800万円にまで至ったが、あとの1、200万円は豊陵会特別会計から。とは言え、考えてみるとこの豊陵会特別会計も、長年にわたる協礼金などの蓄積だ。つまるところ、多数の会員の「さざれ石」だ、と気づいた。有難いことだ。うち1、500万円は教育支援基金（主に海外交流）。後輩たちの成長に役立ってほしい。

募金担当の2副会長

教育支援の募金、

これからも継続を願って

募金担当副会長

河村利行（高26）

卒業以来、豊陵会の活動には殆ど参加できておりませんでした。創立100周年の募金活動に、少しでもお手伝いできるようにと思い、豊陵会の副会長に就任させていただきました。しかしながら、実際には、大してお役に立つことができず、内心忸怩たる思いがあります。

新型コロナウイルスのため、社会の先行きが見えない状態でも、多くの皆様に快くご協力をいただき、豊陵会の支援もあって、何とか1億円の目標額に達することができて、胸を撫で下ろしています。

豊中高校の後輩の教育支援のための募金活動が、今後も継続されることと思います。長期的な活動になるうかと思いますが、できる限りご協力できれば、と思いを新たにしております。

自分たちで手づくりの記念事業

総務部会副会長

徳田 俊（高22）

100周年記念事業について、平野校長から「費用面からも、できるだけ外部業者に頼らない形が望ましい」という意向が示されたのは、3年半前、前会長の永田執行部の時でした。記念事業の取り組みが実質的スタートしたのは現在の高坂会長に交替し、執行部もほとんどが入れ替わってからですが、前執行部にも属していた私が常に考えていたのは「外部業者に頼らない、手づくりの記念事業」ということでした。

そのため、記念事業特設ホームページを作成したり、残されていた北原白秋・山田耕柞両先生の自筆原稿から校歌レリーフの版下を作成したりと、専門の業者やプロに依頼すれば、もっと効果的でスマートなものができたでしょうが、自分たちでできることはできるだけやってきました。

1億円という途方もない目標の募金が達成でき、コロナ禍で企画変更を余儀なくされた記念式典も無事に終わった今、「手づくりの記念事業」が達成できたのではないかと、3年半の道のりを感慨深く振り返っています。

豊陵ホールを完成して

記念事業部会長

大川慎太郎（高16）

食堂スペースの整備が無事終了し、多目的空間として生まれ変わった豊陵ホールは100周年記念事業の中核であり、高坂会長を最先頭とした募金活動の主目的であっただけに、その完成は大変喜ばしいものです。

この過程では、記念事業部会として完成まで1年余にわたり、そのコンセプトから床の材質、空調に至るまで真剣な検討と作業を何度も重ねてきました。部会は1級建築士をはじめ多才なメンバーと、極めて多忙ながら熱心に準備作業をこなしてきた先生達で構成され、生徒が集会時フロアに直接座る場合の冷え対策についても熱く議論したことさえありました。（メンバーの高齢者の発想?）

これからは豊陵ホールが多様な創造的空間としていつまでも愛されることを祈念するとともに、伊藤事務局長ら部会メンバー諸氏の努力に敬意を表し、何よりも本事業に関しご支援を頂きました皆さまに心からの感謝を申し上げます。

「創立100周年記念誌」の

完成を迎えて

記念誌編集統括

國友奈美（国語科・高32）

母校に転勤した夏、図書館で浅井先生とお会いし、「これ差し上げよう」と80

三度目の正直、感動を残し 「加古隆ピアノコンサート」無事終る

「コロナ禍」のために開催を2度も延期した「加古隆ピアノソロコンサート」(百周年事業実行委員会主催)が3月12日夕、曾根・豊中芸術文化センターで開催された。

あいにくの雨となったが、豊友会(PTAの先輩会)はじめ有志が受付係になり、入場者にチケット裏面に住所氏名の記入を依頼し、検温・手の消毒を徹底していた。

演奏に先立って須賀寅充・式典部会長が開会のあいさつで、何度も延期となった中で開催実現に尽力した関係者に感謝を述べた。

演奏会は休憩なしの連続演奏。加古さんは演奏ごとに曲のイメージを語り、豊高在学中の思い出をも加えた。組み立てられた演奏曲目7つの最後は組曲「パリは燃えているか」。

感動の拍手に応じてアンコールに「黄昏のワルツ」を奏でた。「いま黄昏であって



演奏後、会場で挨拶の加古隆さん

も、その向うには明日の希望があるのです」と語った加古さんは拍手の中を静かに退場した。

この日の入場者は前売りチケットのうち667名。開催決算の差益金は百周年事業会計に繰入れられる。

周年記念誌をいただきました。明快に綴られた80年間の多種多様な記事に圧倒されました。その4年後、100周年記念誌の係を任せていただきました。どうすればよいかと途方に暮れましたが、石田先生、黒田先生、手代木先生、志方先生、川口先生が執筆に加わってくださり、時には昔話で盛り上がりつつも、一言一句にこだわりながら20年間の記事を書き上げました。一方で豊陵会の先輩方が80年間の歴史を見直し加筆してくださいました。

冊子内の写真については、部活動の写

真を寒い中卒業生でもある圓井様が、校内写真については藤縄教頭先生が撮影してくださいました。平野校長先生からは的確な助言を、高坂会長をはじめ役員会の皆さまからは様々なお心遣いをいただきました。また、無理なお願ひも笑顔で聞いてくださった出版社の井上さん、ドローン撮影のために何度も下見をしてくださったカメラマンの町田さん。ようやく完成した記念誌を前に、本誌に関わってくださいましたすべての皆さまに心から感謝いたします。ありがとうございました。

—「無観客」「校内放映」の記念式典は総務部会長の藤縄先生の「開会の辞」で始まりました。去年の春、豊高に赴任された途端に「コロナで休校」「豊陵ホール工事の打ち合わせ」など、気が抜けない毎日でした。

藤縄 豊中高校に赴任し、教頭職も初めての私にとって、新型コロナウィルスの影響は非常に大きいですが、そこから得るものも大きいものです。100周年という大きな節目を迎える豊高にとって、この時期に多くの施設や設備をリニューアルしていただいたことはWithコロナの時代を乗り越えられるにふさわしいものになりました。本当に、支えて下さる豊陵会の皆さんの力の大きさに感謝しております。

—前任の高校はずっと以前に百周年を祝っておられます。豊高の百周年事業としての特色や感じられたことがありますか。

藤縄 私は勤務経験の中で、周年行事に参加させていただくのは今回が初めての経験です。教頭として関わらせていただき、私の赴任前から計画されてきた事業のスケールの大きさをひしひしと実感してきました。

しかし、そうした計画も新型コロナウィルスによる影響で、実際になるにつれ変更や縮小、となっていく様子

「記念式典」を終えた藤縄真敬・教頭にお聞きしました

目の当たりにするのは非常に辛い思いがありました。私ですらそういった思いを持ちましたので、豊陵会の皆様方のお気持ちを考えてと計り知れないものだったろうと思います。

平野校長をはじめとして多くの方々から助言をいただき、私自身がこの記念事業を何とかいい形で迎えられるべく、微力ではありましたが関わらせていただきました。式典が無事に終了し、実行委員の皆様方の晴れ晴れとした表情や、生徒、教職員の様子を見ると、言葉には言い表せない感情がこみ上げてきました。予定は大きく変わってしまいましたが、しっかりと記録と記憶に残る素晴らしいものだったと思います。

—ほっとする暇なく、「コロナ禍」の中、次の年間予定が続きますね。

藤縄 そうですね。記念式典は終わりましたが、豊中高校はさらなる発展に向け、前進し続けている学校です。まだまだコロナによる逆風が収まる兆しはありませんが、豊中高校を愛する人々の力を結集させ、逆境をプラスに変えていける「しなやかで心折れない豊中高校」を築きあげるための一員として、今後も頑張っていきたいと思っています。今後も皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

実行委員会の会計を担当して

会計担当

大田典子（豊友会幹事長）

私は豊友会（PTAのOB会）の幹事長をしておりませんが、このたび100周年の記念事業会計の大役を任せられ、必死でつとめさせていただきました。

募金目標額1億円の会計の大役を無事果たすことができました。これも皆様方のご協力のおかげと感謝しております。

百周年記念事業実行委員会の役員会では「募金趣意書」作成から始まり、募金口座を作成するために郵貯、銀行とクレジットの契約をしました。特にクレジットはクラウドファンディング機能を使える事を重視して募金された方の名簿作成に役に立ちました。クレジットをお願いしたコングラントさまから募金の成功例としてインタビューもリモートで受けて、周年行事を予定している他の学校のお役にも立っているそうです。

いよいよ、募金が始まると多い日には1日100件近くの送金があり、暑い日など年配の先輩方のお振込みに感謝の日々でした。聖徳太子などの旧券での募金もあり、家では息子（61期）や娘たちは「初めて見た」と大喜びでした。

1年後、特定寄付が集まり、2020年春休みには各教室にプロジェクトとパソコンの配置が出来、他の工事に取掛かろうとする時期にコロナ感染予防の1回目の緊急事態宣言で休校の事態になりました。しかし、工事は夏休みにしかがけできない事からその間も見積もりや打ち合わせを先生方と重ねました。

休校の余波で夏休みが2週間しかなく、予算に限りがある中、真夏の酷暑の環境を

1日でも早く各業者様はできる限りの要望を聞き入れてくださり、予定通り教科準備室と豊陵ホールで工事を終了することができました。本当に感謝の一言です。

その後、一般寄付で校歌レリーフ作成（体育館と豊陵ホール）、ヒマラヤ杉植樹、記念誌作成と順調に終わりました。

加古隆ピアノコンサートでは、初めてチケットぴあとの契約をしました。戸惑うことや、リモート業務のため電話ができずに困ったことも多くありました。演奏会は2度も延期を余儀なくされましたが3月12日に素晴らしい演奏をしていただき感動のコンサートになりました。

いよいよ記念式典の準備を始め、皆さんに案内状を送付した頃、コロナの再蔓延で無観客開催に変更しながらも会場と打ち合わせを重ねていきましたが、緊急事態宣言により会場が休館し2週間前に学校での開催に決まりました。各教室にネット配信をする設備、会場の準備など連休の間も休むことなく続けられました。当日、子ども達のパフォーマンスマスも素晴らしく最高の式典になりました。良い式典を先生方、映像関係の方の熱意の賜物だと思います。

この3年間を通して日常生活ではできないクレジット契約、チケットぴあ契約、コンサートの裏側など貴重な経験をさせていただきました。

そして実行委員会、学校関係者、各業者のみなさまとの出会いが宝です。皆さまのトラブルの時の困った顔、出来上がった時の笑顔：素敵な思い出になりました。

最後になりましたが総額1億円、5,000件近くの皆さまのご協力により無事100周年記念事業を終えることができました。本当にありがとうございました。

コロナ禍、他校の「創立百年」

コロナ禍にぶつかった各校の「百周年」。どんな状況か、同窓会事務局に電話取材しました。

▼生野高校（府立12中。昨年が100周年）=式典は昨年10月、中之島・大阪国際会議場で学校とリモートでつないで終了。記念募金1億円は達成。しかし今年5月に延期した祝賀パーティは中止。「百周年誌」を発行。コロナで諸会議が開かれず、全会員へ広く伝達する手段が取れず困っている。（本校と同じ）

▼湘南高校（神奈川県立6中）=11月2日に横浜で学校の記念祝典を予定。祝賀会は延期。海外留学制度実施のための記念募金は達成。「湘友会」総会5月23日にオンラインで開催。90周年事業で完成した同窓会「歴史館」内のスタジオから事前申し込み会員に放映する。豊陵会とは校歌が白秋・耕柞と言う縁で交流が続いている。

▼新宿高校（東京府立5中）=この10月23日、京王プラザホテルで。記念募金は目標1億円で継続中。奨学基金新設（4千万円）、2年前の台風で壊れた千葉県の合宿施設「館山寮」の改築（3千万）、会員集いの場設置（3千万）を目指して記念募金目標1億円を継続中。「100年史」も編纂。

▼鳳高校（府立14中）=以前から「周年事業」は数え年で実施。今年を100周年として11月27日にフェニーチェ堺（市民芸文センター）で記念式典の計画だが、緊急事態宣言でセンターとの詳細打合わせが中断。記念募金で教育施設の充実（ICT機器・メディア教育環境の整備）、食堂・特別教室にエアコン設置、教育基金の設立、記念誌の発行を計画。校歌は山田耕柞の作曲。

▼住吉高校（府立15中）=来年10月29日大阪国際会議場で記念式典。リーガロイヤルで祝賀会。1億円の記念募金の募集中。全教室に電子黒板を設置、食堂を多目的使用へリニューアル、「百周年誌」を編纂。

「光」の文字デザインに “未来につなぐ”意味を込めて

生き残った！「記念式典プログラム」

「記念式典」は思いもよらぬ学校内での縮小開催になったが、当日用に準備されていた式典（式次第）は方法こそ違え予定の順序通りに実施され、準備したプログラムは生かされた。

当日配布されたプログラムは平野校長のアイデアをもとに表紙に秀島踏波さん（元・母校書道科教諭。この「豊陵会報」の題字も）が揮毫した。

記念式典にふさわしい文字はやはり「風と光」の光。過去・現在・未来とつながる豊高、「左端より前は100年間の過去、実線は現在、右端は永遠に輝いてもらいたい未来」の意味を込めた。

式典は講演・演奏家ともにビデオによる「鑑賞」になったが、「プログラム」は式典の生き資料として立派にその役割を果たした。



豊陵会東京支部総会懇親会中止のご連絡

支部長 松本俊二



祝！創立100周年

関東圏は母校から遠く600キロ離れていても
同窓の縦横の絆を強めて新たな伝統、つながる未来へ
これからも母校の発展に寄与できる活動を進めてまいります。

東京支部会員の皆様におかれましては、
コロナ禍の不自由な日常の中、
いかがお過ごしでしょうか。
本年は母校創立100周年の
節目の年になりますので、
総会懇親会を盛大に開催できる事を
願っておりましたが、
現在の状況から断念せざるを得ず、
中止といたします。
皆様におかれましては、ご健康に留意され、
どうぞお元気で過ごしてください。

2021年6月



豊陵会東京支部FACEBOOKで発信中
東京の大学に進学などで転居予定の方は、
下記事務局まで会員登録のご連絡をお願いいたします。
東京支部事務局メール：houryou.tokyo@gmail.com



[FACEBOOK]

中部支部

豊中高校創立100周年おめでとうございます。

過去に経験のないコロナ禍中の教育継続に苦勞された教員の皆様や、目まぐるしく変わる予定変更に対応しながら100周年記念行事の準備に当たった豊陵会役員の皆様のご努力に感謝申し上げます。またクラスメートが誰か分からない状態が始まった新入生を始め、コロナを乗り切った学生諸君にエールを送ります。この経験は必ずや将来活かされるものと確信します。

昨年はコロナで日本のデジタル化の遅れが露呈しましたが、今では東京や大阪に出向いての打合せは勿論のこと、地元名古屋の大学や企業との打合せもオンラインが当たり前となりました。中部支部もせわ人会議のみZoom活用で継続するも、恒例の秋の総会、春秋2回の街歩き等、支部活動は全て中止の止む無きに至りました。

今後オンラインを活用した懇話会など、メール会員の皆さんに参加を呼び掛け、会員相互の交流促進を図りたいと考えています。withコロナの時代、日本のデジタル化の遅れを一挙に取り戻したいものです。メール未登録の方は是非原稿末尾QRコードからアクセスし、卒業年度（高XX期）、氏名、メールアドレスの登録をお願いします。

最後になりましたが、今年の中部支部総会は11月20日（土）15時から名商グリルでの開催を予定しています。但し、コロナの状況次第でオンライン開催の可能性もありますので、是非メール会員登録をお願いします。7月末には開催方法を決定しご案内します。

皆様の積極的ご参加をお待ちしています。

2021年5月6日 中部支部 せわ人一同



祝 創立100周年

豊中高校のさらなる発展を祈ります

■■ 同窓会は心のふるさと ■■

豊陵会中部支部

豊陵会中部支部



豊中高校創立百周年の夢

思い出を積み重ねて、
大切な思い出、記録も写真もないけれど：

最終回



昭和46年第2号館完成時

自由と闊達



中19

野澤 (高橋) 亨

豊中(トヨチユウ) は昭和の新社会人を作る為か自由な将来

を見ての創立だったと思はれる。それは、校歌が示している。1・2年生から直接外国人ジョンケア・ゴルダーというオーストラリア人からの英語教育。2年生には菅平への夏の合宿。園芸の時間(裏の農園)。武道も剣道のみ(当時は剣道と柔道があった。早くからグライダー(体育時間)など、当時の校長先生・大阪府教育委員会等による新しい感覚への努力が感じられる。

英語の先生は熱心だったし、赤いネクタイなどをして、ハデさもあった。剣道もオリンピックク(ベルリン)で模範試合をした外国帰りの学生だった。

阪急電車に乗るのも、1両目は豊中生、3両目は梅花の生徒。駅からの通学路は、登校下校とも左の歩道は豊中生、右は梅花生だった。

しかし、昭和15年(紀元2600年)から右へ傾いて行った。

戦時色が強くなると、一週に九時間あった英語の授業も週一時間になってしまった。毎週金曜日は箕面まで小銃を担いで走る往復行軍。低学年は、町中に防火用水の池を作り、私達高

学年は、信太山演習場に訓練大隊した。

私は胸が弱く要注意と医者から言われていたが、軍事教練の授業に出ないと卒業出来ないし、卒業しても軍隊に入り、将校の試験も受けられないので、授業に無理して出席していた。でも、現在元気なのは、この時の努力の賜物かも知れない。

■満州の国民学校で聞いた 山田耕筈氏の講演

高2 高室 光博

創立百周年の記念に旧校歌のレリーフができると聞いて思い出したことがあります。

山田耕筈氏と言うと、満州国(偽満州国と言うべきか)建国10周年記念で渡満され、当時の首都・新京(今の長春)で講演会がありました。おそらく「建国十周年慶祝曲」を作曲された縁で来られたのでしょう。

1942年(昭和17年)9月15日、建国10周年記念式典の日、場所は新都市・南嶺運動公園でした。我々少国民(国民学校生徒も、芝生?(芝なんて無かったな)にあぐらをかいて謹聴したことを思い出します。

題名は「交響曲とは」だったかでしょうか。6年生のガキ共にはなんのことか分からずでした。戦後帰国し、豊高に来て校歌が山田耕筈の作曲と知り、妙な因縁に感心したものでした。これも遠い昔の話なので、果たして本当に山

■戦後混乱期の高校生活

高5 大崎(小林) 嘉子

田耕筈氏の講演を聞いたのだったかどうかも、幻のように思えてくる昨今です。当時の同級生とは全く音信がありません。最近では昔購入した本ばかり読んでいます。何遍読んでも新鮮な読後感です。次第に常夜の世界に近づきつつあるのでしよう。

ヒマラヤ杉と墨流しの校舎、400mトラックの運動場、緑色の水のままの飛び込みプール。ホームルームの物理教室は戦中遺体安置所だったとか? 暗い校舎。バラックのトイレ(女子用)。銀杏は校章にもなっていた。

先生もトヨチユウ以来の方が多く中23期の夫(転校と諱名(あだな)で通じます。武専出身の先生のジレンマはいかばかりだったでしょう。

授業はローリングシステム。自分で時間割を作り、必須科目以外は自由に組み合わせ、10分間で、民族の大移動、と称し次の授業へ。キャンパスでないから大変でした。

戦後教育の混乱のすべてを経験した世代です。勉強は一生かかって、ぼつぼつとやりましょう。開発のツケが廻っています。

■兄弟姉妹はみんな豊高だった

高15 吉村(藤岡) 嘉恵

私は入学して1年生の間は就職コースに在籍

していました。2年生になる昼休み担任の乗岡先生のところに進学コースへの変更の旨、相談に上がりました。先生は「無謀です」とのこと。春休みは遅れを取り戻すべく、可成り一所懸命だったように記憶しています。

修学旅行は私達の時コースが5・6ヶ所用意されていて、私は臨海班を選び、天の橋立、鳥取砂丘、海水浴を楽しみました。

兄弟姉妹は2・3歳違いで4人が豊高へ通いました。そういう意味では我が藤岡家は高校生という大切な時期を豊高によって育まれ、私達の今が在ると感謝しています。2人の兄(11期と13期)は令和元年、令和2年と相次いで他界しましたが、10期の姉は未だに健在です。今となっては、当時のことが懐かしさで一杯です。

■私のラッキーな人生

高18 中村 公一

創立百周年おめでとうございます。豊高卒業生・豊陵会員の末席に居られることに感謝感謝。私の人生、振り返ると、総じてラッキーだったと思う。

中学3年になり、前年度全国高校入試問題を片っ端から解くのが楽しく、テスト毎に成績が上がって、豊高受験OKと。私の年が団塊の世代の始まりで、受験枠が増え、また、北野高校が同じ学区となって、豊高のレベルが下がった。

豊高時代、特に勉強ができる訳でもなく、スポーツができる訳でもなし。豊中駅からの通学路では反対方面の電車で来る女子と途中で合流するのが毎日の楽しみ。下校時は音楽部の先輩達と唄いながら豊中駅まで。

大阪の大学には当然入れてもらえず、名古屋の大学には合格ラインギリギリで入学。豊高の先輩に誘われてグリーククラブに参加したり、授業をサボって麻雀したり。大学卒業時は幸いなことに日本が大変元気な時代。私の様な成績で

も豊高卒と言うのも採用にプラスに働いてか関西の電器メーカーに無事入社。結構大きな会社だと入社後に知ってびっくり。メーカーなので、給料はそんなに高く無いが、ローンの信用の大きさにびっくり。職場仲間だった男女が結婚し、その娘さんが豊高後輩と言うことで結婚相手探しに尽力。

豊高卒業生で活躍されている方が沢山おられ、同じ高校卒だと言える嬉しさ。私ができるのは、せめて評価を下げない様に生きることかと。

趣味の仲間が集まった席にたまたま居た女性が豊高の1学年先輩で、岡ボン指導の女子ハンドボール部だったと。それがワイフ。何度が離婚届を書きかけたが、何とか今もつながっている。これが私の人生で一番大きな豊高への感謝かな…

■豊高会の会員数一覧から

高19 北村 正治

この機会に会員名簿(2015年版)の会員数一覧を見た。創立から各年の卒業生数などが記載されている。この1頁の情報から色々思う。中学1回から19回までは戦死者数が記載されている。卒業生200名程度に対し、最高32名の戦死者数があり、この時代を物語る。戦死者数の欄は高校期にも続くが、空欄。この空欄が永久に続くことを願う。

私は高校19期、卒業生は500人台。団塊に相応しいこの人数も今では第一線からほとんど退いた。前後の世代は400人台に収まっているが、35期あたりから増加し、670名をこすまでに。第2次ベビーブーム対応か。この時期あたりから連絡先不明者が増加し、この傾向は10年以上続く。多忙な働き盛りか、あるいはこの世代の特徴か。一旦連絡が途切れると再開は難しい。個人的に得た連絡先は安易に明かせな

いこの時代。名簿管理を始め豊高会役員の皆様の活動に深く感謝。

■夏山合宿から始まった

高23 小泉 清

普通の運動部では中学から続けているものになわんと入ったワンダーフォーゲル同好会。ところが、練習は毎日で予想外に厳しい。万博前の開発が進む島熊山への坂道を駆け上がっていました。

そして迎えた夏山合宿。夜行列車で高地に入り、朝から蝶ヶ岳を登った翌日、奥穂高岳へ向かいました。初めて経験する北アルプスの岩稜や鋭鋒は新鮮でした。キスリングという帆布の横長ザックで、結構重い荷を背負っていました。練習の効果かバテずに歩き通せました。下り立った新穂高温泉につかり山並みを見上げた時、達成感を感じました。

顧問は西岡、東郷、仲、多々4先生の豪華陣。普段はあまり口出しせず、しんどい場所でも「○○、ガンバ」とゲキを飛ばしました。「エーデルワイスの歌」「穂高よさらば」…と山の歌、温泉の魅力も教えてもらいました。

高2は豊高紛争の時代、メンバーの多くが激流に入りました。7月の警察力導入の際は私も抵抗しましたがあえなく排除され呆然、「親心やないけど教師心はあるぞ」と声をかけられたことを思い出しました。そんな中でも夏山は立山・剣岳に向かい、懸案の部への昇格が実現。より良い明日をめざし、みんな気力が満ち溢れていたのでしょうか。

新聞社に入って長い山行はできなくなりましたが、山へのアンテナが自然と伸びたのか、山にまつわる環境保護や地域おこしのニュースは結構拾いました。退職後も、山麓に生きてきた人々を訪ね、戦中戦後の歩みを聞き書きしました。高1の夏に始まった山道は、途切れなが

らも今につながっています。

一人ひとりの軌跡が重なり合つての百周年、おめでとうございます。

■中庭で、ともに唄った フォークソング

高26 陰山 和晃

豊中高校が創立百周年を迎えられました事を心からお祝い申し上げます。

私は1971年(昭和46年)4月から3年間母校でお世話になった26期の者です。

当時の思い出としては、日本フォーク全盛の時代で、中庭で、有志のバンドメンバーが生演奏で「出発(たびだち)の歌」や「神田川」、「さなえちゃん」、「結婚しようよ」などを唄っていたことが脳裏に焼き付いています。

卒業後は、2015年11月の「還暦クラス会」(3J)で担任の引野秀夫先生と再会。2017年9月16日の「高26同期会」(26会)には総勢147名が集まり、菅岡先生・丸岡先生・山田先生・泉先生も出席されて開催することができました。

母校の百周年を新たな飛躍の出発点とし、ますますの発展を心より願い、お祝いの言葉とさせていただきます。

■音楽漬けで楽しかったけれど

高31 正田(久田) 伊根子

3年間音楽漬けの毎日。軽音楽同好会で志向の違う3つのバンドを掛け持ちし、キーボードを弾いていました。文化祭前の夏休みの練習は、普通教室で窓やドアを締め切ってやっていて、正に地獄!でも4年後の今思うのは、ご近所迷惑だったということ。ガラス窓が振動するほどの音量でした。誌面をお借りして、ご近所の皆様へ深くお詫言申し上げます。

数年前、後輩さんたちは豊高近くの母の施設

に慰問に来てくれました。当時母は、1月の音楽会にお洒落していくのを楽しみにしておりました。豊高との音楽を通じたご縁に感謝!

■生物研究会のひと

高32 政木 真里

高校32期(1961年・1962年生まれ)は、今年還暦。マジか。在学中は生物研究会所属。同期は生嶋君の二人。私の性格がきつい?のに対して、おとなしい人であった。当時の生研は淀川水系の魚を採集・展示。十三あたりの淀川ワンドや京都嵐山渡月橋で、投網やセルピンを使って魚を採集し、生物実験室後ろの水槽で観察。だから今も投網うてます(気持ちだけ)。OBの斎藤さん(京大生)が、魚のことを教えてくれた。夏合宿は斎藤さんのご実家の琵琶湖の別荘で魚とりなどを楽しんだ。

父(高2期アメフト部)は引退後、足繁くロードラナーズの応援に通った。

私は生研から離れてしまったが、父や斎藤さんのように部活にOBが顔を出して現役と交流しているのは良いことだと思つた。

■すばらしい豊高愛を感じて

高43 市井(山口) 陽子

創立百周年、おめでとうございます。豊高の自由な校風は、のんびりとした性格の私にはぴったりでした。在学中は帰宅部で、何かに熱心に取り組んだ記憶はありませんが、良い先生方、友達に恵まれて居心地がよく、3年間の豊高生活をエンジョイしました。

そんな私も歳を重ねて、長女が通う埼玉県内の高校で、PTA役員となり、久方振りに高校へ出入りする機会をもちました。その時痛感したのは、後輩思いの卒業生のありがたみです。取り分け豊高は先輩後輩の繋がりが深いように思います。「在校生のために、後輩のために」

と様々な支援を続ける、豊高愛が強い卒業生の存在に今さらながら気付いたら、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。これからも豊高生が充実した高校生活を過ごせるように、私も微力ながらお役に立ちたいと思っております。

■今も色褪せない大切な思い出

高43 石原 陽子
創立百周年おめでとうございます。卒業して早30年になりますが、私にとって豊高は今も色褪せることのない数々の思い出の場所です。

特に高校2年生の時、実ることはなかったけれど、ある人に真剣に恋した事は今では、私の大事な思い出です。

また、修学旅行で行った尾瀬も忘れられない思い出の一つで、今でも美しい紅葉の尾瀬の道が鮮やかに蘇ります。尾瀬を選んで頂いた先生方には本当に感謝しています。その尾瀬の道と一緒に歩いた友人達とは今でも年に一回旅行に行きます。

そんな私の豊高は中学生の息子にもお勧めしている高校ですが、少々建物の老朽化が気になります。次の百年に向かう若い後輩達のためにも、改修工事を是非とも進めてほしいと願っています。

■卒業後に気づいた豊高の重み

高44 倉沢 陽一
大正期に旧制中学として設立されて以来、多くの優秀な人材を輩出してきた豊中高校が創立百周年の節目を迎える事を大変嬉しく、そして誇らしく思います。

私が豊中高校を卒業したのは29年前（1992年卒業）になりますが、在学中に創立70周年記念行事があり、その一環として歌舞伎鑑賞をした記憶があります。高校生時には歌舞伎などの伝統芸能の価値を理解できていな

かったこともあり真剣に鑑賞しておらず、大人になって後悔した次第です。母校や素晴らしい校歌への思いも、伝統ある豊中高校の歴史の重みを理解できる歳になったあたりから、より一層強くなった気がします。

大学時代の同窓生は同じ学部・学科の友人が多く卒業後の進路も似ているところがありますが、高校の同窓生は、仕事内容などキャリアが多岐にわたり、会って話をするとき多くの刺激を受けることができます。今後同窓生との繋がりを大切にしていきたいと思っています。

■リベンジしたい中夜祭の舞台

高50 藤田(巽) 明子
豊高で過ごした三年間は、私の人生において大きな誇りであり宝物です。卒業後は、小さな頃からの夢だった歌手になり、アニメやゲームの歌を歌っております。そんな私の初めてのステージ経験は、文化祭「中夜祭」のカラオケ大会でした。全校生徒の前でも緊張し、思うように歌えず悔しかった思い出があります。いつか、あの体育館のステージでリベンジ出来たらと夢に描いて、これからも頑張っていきたいと思っています。

■アメフトに学んだ高校生活

高51 木村 健治
私は中学時代に合気道部に所属していましたが、豊高には合気道部がなかったため、中学の合気道部の元主将でアメリカカンファットボール部に所属していた藤原先輩（高50期）に相談したところ、「アメフトはスタートライオンが皆同じ。それに、豊高は中学3年分多



くアメフトを経験している強豪関学高に実質2年で追いつく合理的かつ科学的アプローチで練習を行っている」と説明を受け、憧れて入部を決めました。いざ入部してみると、合理的練習3、気合と根性7という絶妙なバランスの方針で目から汗を流しながら毎日練習に励みまし

た。結果、3年時には先輩の予言通り(?) 関学高に勝利し、合理性と根性のベストミックスを学びました。また、当時の私は遅刻や居眠りの常習犯である典型的な問題児で勉強はさっぱりでしたが(足立先生ごめんさい)、当時苦楽を共にした仲間たちとは強い絆で結ばれ、生涯の友人を得られたことが高校生活での一番の財産です。特に同期の副キャプテンだった笹田君とは、縁あって今も一緒に会社で共に切磋琢磨しています。(写真左が笹田君、右が私)

■これからの豊高生に期待

高53 中野(安岡) 茉衣子
この度は、創立百周年おめでとうござい
ます。母校の記念すべき年に、会報へ寄稿させて頂くという素晴らしい機会を賜りまして光栄です。この縁に感謝しつつ、卒業生の一員として一言感想を述べさせていただきます。



私が豊高を卒業したのはちょうど20年前で、その頃は自由でおおらかな校風で、部活も勉強ものびのびと、マイペースに頑張っている感じでした。

最近の豊高は、知らない間にかなりレベルが高くなり、先進的な教育機関として目覚ましい発展をされてきたことに、卒業生としてとても誇りに思います。

私は海外に留学した経験から、これからの国際化社会においては英語力に加え、論理的・批

判的に思考し表現する能力が必須だと確信しております。

そのような力を培うためには、「自ら考え、行動する」姿勢が不可欠です。これからの豊高には、生徒が自ら探求し意欲的に学ぼうとする心を育み、ワールドワイドラーニング等の取り組みを通じて生徒の思考力や表現力を伸ばすことで、将来国内外で活躍できる多くの人材を輩出されることを期待しております。

■今も輝いてる思い出

高57 山本(佐々木) 静香
大好きだった母校が創立百周年を迎えられること、大変誇らしく、嬉しく感じております。本当におめでとうござい

ます。入学した私達に当時の須賀校長先生は「勉強も遊びもあえて二兎を追っていきましょう」とメッセージをくださいました。

文化祭などのイベントや部活はとことん楽しみ、勉強となれば集中してやりきる。周りにはそんな友達ばかりで、3年間本当に豊かで充実した時間が流れておりました。そんな私たちを先生方も温かく見守り、応援してくださいました。

私にとっての豊高での出会いや経験は、人生の財産であり、ずっとキラキラと輝く思い出です。これから先もまた、そんな時間が流れる場所であり続けて欲しいと願っております。

次号からは百周年の夢の先へ

10年前、2012年4月号から始まったこのコーナーは百周年を迎えて一旦終了しました。ご寄稿いただいた総勢150人以上の皆様、誠にありがとうございました。次号からも、豊中中学・高校時代の思い出を書いていただくコーナーは継続予定です。皆様のご寄稿をお待ちしています。(略名 美佳)

同期会クラブだより

■ 高8「清和会」溪のエドヒガンサクラを観る会

3月23日 川西市・猪名川上流の群生地



2年ぶりに溪のサクラを観る会・清和会のメンバー高八期12名(会員の夫人1名を含む)が猪名川上流の川西市水明台1丁目にある「溪のサクラを守る会」活動地に集まり、満開のエドヒガンの会場を散策したり、持参した弁当を食べながら約2時間の楽しい時間を過ごしました。

会場の水明台のエドヒガン群落は兵庫県版レッドデータブックBランクになっており、平成23年9月に天然記念物に指定されました。ここには植栽木は累計約130本、自生木約150本のエドヒガンが生育しています(日本各地で咲くサクラは大半がソメイヨシノですが、この品種は母をエドヒガン、父を日本固有種のおオシマサクラの雑種とする交配で生まれた日本産の栽培品種です。また、日本の数か所で有名になっている老木は大概エドヒガンであると言われています)。

この地で活動する「溪のサクラを守る会」は平成20年に結成されました。主たる活動としては ①エドヒガン群落や樹木・山野草の適切な保護・植栽・間伐し、生物多様性の進む森をつくること ②地元の小・中学校児童、生徒を対象とする環境学習を支援し、市民を対象とする溪のサクラの公開など楽しい行事を催し、心優しい人と豊かな自然が交わる「ふるりの森」をつくることになっています。

私たち川西・池田近辺に居住する高八期グループ「清和会」の名称は川西市にある多田神社に由来する清和源氏からとったものです。十数年前から会員の親睦を図る食事会などを開催してきましたが、7～8年前からエドヒガンサクラの花見に切り替え、毎年続けています。しかし、この半年間に2名の会員が亡くなり、今回は体調不良者もあり、参加者が減少しました(平成31年参加者19名)。来年はコロナ感染拡大状況もなくなり、参加者が増えることを期待しています。(西詰賢司)

高14関澤純さんら 高54チェロ奏者・辻本玲さんを応援する会を提唱

高14関澤純さんらがN響首席チェロ奏者・高54辻本玲さんを応援する会の結成を呼びかけている。辻本さんは東京芸大卒業後、多くのコンクールで受賞し、各地の演奏会に出演。2020年12月にNHK交響楽団の首席チェロ奏者になった。2007年の豊陵会総会で演奏、この5月7日の母校100周年記念式典にはオンライン出演で演奏した。かつて豊陵会総会で演奏を聴いて感銘を受けた関澤さんは自らもチェロを始め、この機会に後輩音楽家を応援する会の立上げを呼びかけている。高14音楽部同窓生の幹事役・津田由紀夫さん、元津田塾大学長の飯野正子さんら高14期仲間から賛同を得ている。応援する会にご賛同の方はjsekizaw@tc.catv.ne.jpあてにメール連絡してほしい、とのこと。活動の一環としては辻本さんの意向を踏まえ、チェロの楽しみとお好きな曲目、豊高時代の思い出やファンの皆さんへの言葉、ファンからは辻本さんに尋ねたいことをお聞きする、メルマガの発行など、辻本さんとメンバーが情報交換しコロナに負けず楽しく応援したい、との考えという。

藤上先生を偲んで

高9 難波啓三

私たちが入学した昭和29年頃は、藤上先生が若くして教鞭を執られていて真面目さが伝わってきました。

部活もありましたが勉強・勉強でした。文化祭で仮装行列した時、藤上先生の恰好をして参加したことを鮮明に覚えています。

3年間も担任でご指導いただきありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

■ 関東高八会

今年は10月29日開催、会場予約済み



コロナ禍の中、2020年10月30日(金)、新宿住友クラブにて関東高八会を開催しました。参加者は(敬称略順不同)井上(渡辺)好子、河崎博夫、神保雅明、杉浦篤、田中建六、伊達仁彦、早川泉、八色賢典、中野裕の9名。昼食をとりながらコロナ禍の中大阪からはる

ばると参加の神保君からは、豊陵会の現状報告と、100周年の募金依頼があり、各参加者からはコロナ禍での生活状況の報告を受けました。お互いに、健康を維持して、元気に毎日を過ごし、コロナ禍に打ち勝つことを約して解散しました。

2021年度は10月29日(金)開催の予定にて、場所(新宿住友クラブ)です。(中野 裕)

■ 高14期会 やむなく今年も中止

昨年の14期同期会はコロナウイルス蔓延でやむなく中止しました。今年同時期に開催すべく準備を進めましたが、コロナ変異株及びワクチン接種の遅れにより中止せざるを得なくなりました。今後の同期会については未定です。(同期会幹事一同)

■ 高15期 10月22日の喜寿総会、今年も中止

フェイスブックに「15期会グループ」を立上げ

高校15期・喜寿記念同期会を1年延期して今年10月22日に開催を予定していましたが、コロナ感染拡大に鑑み、中止を決定しました。次回開催は未定です。

なお同期の情報交換の場としてフェイスブックで「15期同期会グループ」を立ち上げました。越智克司・木村榮次がグループ管理人をしています。フェイスブックアプリから管理人への友達申請をしてください。グループへの招待を送ります。多数の参加をお願いします。(木村榮次)

記念講演の村上さんへ激励の寄せ書き

高20期有志でペシャワール会への寄付も

創立100周年記念式典の記念講演で来阪の予定だった高20村上優さんが、コロナ禍のため録画による講演になってしまったが、同期生の有志から「ぜひ歓迎と激励を行ないたい」との声が起こった。

同期生が実施していたオンライン会議などを通し、次のことを決めた。

①同期生間のコミュニケーション手段であるML(メーリングリスト)を通して呼びかけ、「寄せ書き」を制作し贈呈する。②村上氏が、パキスタン・アフガニスタンへの支援を行なうペシャワール会の会長であることから、同期生で同会への寄付を取りまとめて会へ寄付を行ない、その報告文書(=「ペシャワール会への寄付に添えて」)を記念品として贈呈する。③当日参加者による「寄せ書き」を作成・贈呈する等。

村上さんにお会いできなくなったことから、③は出来ず、①②について激励の意を表す手紙を添えて郵送した(写真)。今回の同期生の取り組みは、村上さんが古希を超えても、医療現場でご活躍のうへ、故中村哲氏の遺志を継いだペシャワール会会長として果敢に活動されていることへ敬意を表わし、未永く活躍されることを祈念する、深い想いを表したかったからである。村上さんから丁寧な謝辞が来ました。



(高田裕文・三木俊博)

谷垣内さんは高校3年時に、進路を考えると漠然と興味があったイギリスで薬剤師になるという夢を実現させたくらい一念発起。家族や英語科の安福先生に後押ししてもらい渡英。1年間ノーリッチ(Nowich)でファウンダーシヨンコース(大学に入る前の留学生のための準備コース)に入学。University of ReadingのMPharm Pharmacyという学部を卒業して薬学修士を取得。現在はNHs(National Health Service)という国の保健機関に雇用されていて、ウエルズ内の病院や薬局で研修薬剤師として働きながら国家試験に向けて勉強中。

英国で薬剤師として

着実にキャリアを積み
コロナの現場も体験

◆トヨコウ在学中からどんな希望・計画を持って、決心をされていたのですか。先生にはどんな相談をされ、どんなアドバイスがあったのですか。受験・渡英の準備は？

父は海外出張の多いビジネスマンだったので、海外が身近なもので、常に興味がありました。また、以前祖母が少し身体を悪くしたときに、自分に知識があれば、何か手助けできるのと思ったこと。そして、イギリスの薬剤師はできる職務の幅が広く、より人の役にたてることに魅力を感じていたことから、高校3年になって進路を考えた時どうしても留学を実現させたいという気持ちになりました。そこから、具体的にビザや学校、生活のことなどをネットで調べ計画を立てて家族に相談しました。

とても有難いことに、祖父母も両親も背中を押してくれたので、決断して

からは自分でどんどん進めることができました。留学前はIELTSの試験対策を中心に勉強し、推薦書の準備などは英語科の安福先生に手伝ってもらいました。この記事に安福先生のお話も載せていただくと聞いて楽しみです。

◆なぜ留学先をロンドンに選んだのですか？

初めてイギリスを訪れたのは高校1年の時に参加した豊高の海外語学研修です。パース(Pearse)と言う綺麗な街に2週間滞在して、同い年のフランス人と一緒にホスト・ファミリーの家に住み、

豊高卒業後に留学
英国で薬剤師を目指す

英国で薬剤師を目指す



中央が谷垣内さん

高67 谷垣内 肇さん

世界各地から集まった同年代の生徒たちと一緒に授業を受けました。留学というものが、何となく叶えたい夢から一気に現実的な目標になった気がします。ちょうどオリンピックの年だったのでロンドンに行く機会もあり、ここで勉強出来たら良いなと言う気持ちも膨らみました。

◆留学生活で文化の違いも感じられたでしょうか？

イギリスの大学には世界中のありと

あらゆる国から留学生が集まってくるので、文化の違いは毎日至る所で体験することが出来ます。

例えばマレーシア人たちとシェアハウスしていた時、食事は手で食べたり、毎日庭でイスラム教のお祈りが行われていたり、文化や価値観など違うことだらけで、毎日リビングでみんな話しているだけで楽しかったです。ただ「土足文化」だけは今でも慣れないので、自宅の玄関はさっぱり仕切っています。留学して一番良かったと思うことは世界中に何でも話せる友達が出来たこと

とです。

言葉、食、宗教、価値観や育った環境、何から何まで違うことだらけの人たちと一緒に授業を受け、暮らして、たくさん話すことで、どんないろいろなことを吸収できました。そのことが留学生活で一番刺激的で有意義な時間だったと感じています。

◆初めての「単身ロンドン暮らし」は何から始めましたか。会話はどうだったんです？授業の内容や学校の様子、毎

日の勉強は？

最初は「何じゃ、これは？」の連続でしたが、意外とすぐに慣れました。でも今でもお天気と食事には苦労していますが。

親戚も知り合いも全くなく、クラスも日本人は僕だけの状況だったので、逆に積極的になろうと思えたのかも知れません。授業の合間に友達と予定を入れたりサッカードをしたり、とにかく色々な環境を生かそうと自分を忙しくするよう心がけていました。

英語が特に得意だった訳ではありません。授業を録音し、後で聴き直しながらノートを作り、友達や先生に毎日たくさん質問をして必死について行っていました。時間が経つにつれどんどん理解のスピードは上がりました。大変でしたがずつとやりたかったことなので大学卒業まで楽しく乗り切ることができました。友達や先生との日常の会話すらも英語の上達に繋がるので留学する機会があればとにかく積極的に何にでも首を突っ込んでみると早く順応できると思います。

薬学部では生命科学や薬理学などを実験や講義、グループディスカッションを通して学びながら、患者さんとのコミュニケーションの仕方や薬剤師としての倫理や法律まで様々なことを学びました。薬局や病院での研修も毎年度行われ、授業で学んだ知識を実際の医療の現場で使うトレーニングもしました。

◆薬剤師としての仕事は？

イギリスの薬剤師の業務は多岐にわたります。インフルエンザや肺炎、最近ではコロナウイルスのワクチンの注射をしたり、主要な病状の薬や抗マラリア薬、避妊薬を患者さんを診察して直接薬局で提供したりもします。禁煙や減量、薬物依存からの脱却の手助けや、トレーニングを積めば処方箋を書くことも出来るようになります。最近では不正な薬の輸出入を防ぐた



めに薬の箱にバーコードが付けられ、それをスキャンして追跡するシステムがイギリス全土で導入されました。

コロナ感染がピークに達していた時期は同僚が過労で数週間休んだり、毎日のようにいつも診ていた患者さんたちが急にぼつくり亡くなったりと肉体的にも精神的にも辛い状況が続きました。現在はワクチンの接種が広がっているおかげもあり街が少しずつ元の日常を取り戻しつつあります。医療現場の最前線での世界的に見ても激しく打撃を受け、その後ワクチンの普及などで回復して来ているイギリスの医療現場に実際毎日携わっているのはとても良い経験だと思っております。

◆ロンドンからみた日本をどのように感じますか？
日本の四季と美味しいご飯はいつでも恋しいです。イギリスは雨が多くご飯が不味いことで有名なので...

僕は海外に出てから日本のことがより好きになりました。「日本人です」と相手に伝えた時の反応はポジティブなことがほとんどだし、日本車や日本の電化製品などを見かけるとなぜか少し嬉しく誇らしくなります。こっちに住んで、いろんな国の人たちと話す、とだけ日本が豊かで恵まれた環境だということに分るし、日本文化や日本食への海外の関心の高さにいつも驚かされます。一方で、途上国の人たちの勤勉さ

や情熱に触れていると、このままでは徐々に追いつき追い越されてしまうのではないかとという危機感が湧いて来るのも正直な所です。

◆「豊陵会報」としては、後輩たちにもっと海外にチャレンジしてほしいと願っています。アドバイスがあれば……。

海外で勉強したり生活したりすることは何も特別なことではないと僕は思います。イギリスの大学生も言葉や文化が違うだけで中身はみんな日本の大学生とほとんど変わりません。勉強熱心な人もいれば遊んでばかりの人もいます。変わったすごい才能を持った人もいます。街にいる一般の人も同じです。なので、もし留学に興味がある人がいるなら、あまり気負う必要はないと思います。少し本気になって調べてみれば意外にサクッと道が開けるかも知れません。

英語に自信がなくてためらっている人もそれほど心配する必要はありません。僕の高校の英語の成績も特別良いものではなくたですが、自分から積

英語科担任だった

安福一貴先生(高57)から

高校3年の夏頃、谷垣内くんから留学について相談を受けました。「海外で薬剤師になりたい」という明確な目標を持ち、自ら情報収集や資料集めを行い、ご家族からの理解も得られており、あとは彼自身がいけるかどうかだけでした。

私は谷垣内くんのクラスのGrammarやReaderの授業を担当していました。疑問に思うことには、納得いくまでとことん取り組む生徒で、授業後や放課後にはよく質問にきていました。また、ムードメイ

極的に行動することを心掛ければ大概のことはなんとかなります。

留学をしたい意思がある人がいれば、「留学すること」を目標にするのではなく「その先」に何がしたいかを考えると、さらに具体的な考えが膨らむかも知れません。留学前にその先の目標が決まっていればより有意義な時間が過ごせるはずですよ。

大学で様々なバックグラウンドの人と出会い、自分の価値観や視野が大きく広がり、そして信頼できる友達が世界中にできたことが、留学して最も自分を成長させてくれたことだと僕は感じています。

僕の留学生活は毎日が刺激的で心の底から楽しむことができました。少しでも興味があるなら一歩踏み出してみ下さい。チャンスがあるなら飛び込んでみて下さい。悩んでいるなら少しずつ行動に移してみてもいい、そうすればきっと大きな成長に繋がるはずですよ。

(5月20日、メールでのインタビュー。聞き手＝古澤頼秋)

カーとしてクラスや行事を盛り上げ、サッカー部では中心的存在として活躍していました。そんな谷垣内くんなら、海外でも、仲間と支え合いながらやっていけると思い、全力で応援しました。(当時の彼の英語力は判断材料ではありませんでした。)

帰国した際にはいつも飲みに誘ってくれ、近況を報告してくれています。次はいつなのか楽しみにしています。少し先になりそうですが、この大変な情勢を、持ち前の明るさと粘り強さで乗り切り、薬剤師として活躍されることを期待しています。

会員の本

※著者から豊陵会報に寄贈された本の紹介です。(敬称略、順不同)

■ うつりゆく時をたずねて

高23 小泉 清 著

豊高時代はワングル部。定年後もその土地、場所で出会った人びとの語りの中から個人の歴史を、新聞記者時代からのフットワークで書き留めた探訪記。「あの戦争を忘れない」「この土地に立つ」をテーマに22話を収める。

「太平洋戦争下のカナダを生き残った三尾の人々」(和歌山県美浜町)では、かつては房総半島にまでイワシ漁に出かけた村だったが漁業権争いに負けてカナダに新天地を求めたことが記されている。豊中・宮山のコバノミツバツツジの紹介では、かつての自然が語られる。

(2021年1月刊。諷詠社。1,400円税別)

■ 「影響言語」で人を動かす [増補改訂版]

シェリー・ローズ・シャーベイ著

高29 本山晶子 訳

同じ言葉を聞いても、読んでも、なぜ人によって心に残る言葉や文章、イメージはまったく異なるのか。なぜ「言った、言わない」の水掛け論が起こるのか。

人にメッセージを正確に伝えて行動を促すことは容易ではない。著者は、行動につながる「言語」を軸に、相手を尊重しながら自然にやる気にさせる方法「プロフィール(言葉と行動のプロファイリング)」を提唱し、論理的に解説するとともに、世界35か国で培った経験と豊富な事例を交えて紹介。出版直後には、Forbes誌の「起業家とエグゼクティブのためのマネジメントの本」第一位に選ばれている。

訳者は学生のキャリア指導をするなかで、「LABプロフィール」に出合って著者に師事。人の才能を引き出して活かせる可能性に惚れ込んで、そのPC版を提供する組織を立ち上げ、わが国での普及に従事している。大部の訳書だが平易な日本語で分りやすく、実践にも活かしやすい。

(2021年4月刊。実務教育出版。3,000円税別)



■ 高17加古 隆さん 2回も延期になった「百

周年記念事業・ピアノ演奏会」を無事に終えてほつとした気持を「少年時代を過ごした思い出深い

豊中で演奏出来て、感慨ひとしおです」と語った。5月29日にはいずみホールで「加古隆クアルテット結成10周年記念コンサート」で組曲「映像の世紀」などを演奏。さらに6月18日に公開のされる司馬遼太郎「峠」の映画化「峠 最後のサムライ」(戊辰戦争時の長岡藩家老・河井継之助を描く。役所広司・松たか子出演)の音楽を担当。そのテーマ曲は主題歌「何処(いずこ)へ」(歌=石川さゆり)となってエンディングに流れる。活躍の場は変わらず広い。

■ 高32平野裕一さん 5月3日、憲法記念日の府知事表彰で教育関係の功績で現役校長として表彰を受けた。府下の高校関係では公私立を含めて19名が表彰されたが、コロナのため表彰式はなし。緊張続いた百周年記念式典に合わせてほつとしたタイミングでの受賞となった。

■ 高59吉田円香さん 8月20日(金)19時開演。住友生命いずみホール(06-6944-1188。大阪城公園駅)でチェロリサイタルを開く。全席指定・2,500円。令和3年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業の演奏シリーズ」の第2弾。

令和2年4月以降の役員異動

幹事	高73期同期会世話役
加堂 裕規(高21期)	寺西 駿貴 早川 舞
古澤 頼秋(高48期)	小泉 壮太郎 梶本 愛子
評議員	田島 壮介 榎野 ひとみ
牧野 隆(高21期)	奥村 泰成 河内 ひとる
小林 柚香里(高34期)	日高 健介 妻鹿 友香
川口 峰広(高55期)	船橋 誠大 井上 夏凜
小西 遥登(高72期)	辻 健志 原野 万穂
藤原 碧大(高72期)	中村 優杜 茂木 優
碓本 優衣(高72期)	渡 陸 林 咲希

コロナ禍 卒業 入試 入学 工夫の実施

記念植樹の ヒマラヤ杉も見送る

高73期生、355名が卒業

3月2日(火)、緊急事態宣言は解除されたものの、卒業証書授与式は感染症拡大防止対策で来賓の出席は控えられ、事前に配布された「式次第」(プログラム)に祝辞が掲載された。

さらに保護者の出席を制限。卒業生徒席も1クラス2列と前後をずらして間隔をとっていた。国歌・校歌は発声せず、100周年記念校歌レリーフに注目しながら、静聴するに留まった。すべてが動作の少ない式となった。

式辞の中で平野校長は、コロナ禍の中で生徒が一丸となった『さすが豊高生』と思う全力的な取組みに敬意を表するとともに、周囲の先生・保護者・地域の方々などの支えがあったからこそのものである、と述べた。

さらに旅立つ卒業生に、平野校長は、

① 謙虚な姿勢 ② 学べば無知を知り、無知を知ればもつと学びたい ③ 遊び心を持つ ④ 苦しいと

きを乗り切る方策は、文化創造を生む、③ 心で見ると見なければよく見えない、大切なことは目に見えない、④ 君子は豹変する ⑤ 立派な人ほど過ちが分かれば、すぐに自分を改める、⑤ ノブレス・オブリージ ⑥ 貴族の精神・幅広い視野で努力し、専門性を身につける中でも、芸術やスポーツなども楽しむ、の饒の言葉を贈った。

自身も高32期卒業生として、豊高で出会った友人・先輩・後輩・先生のことを末永く大切にしたいと付言し、100周年記念の校歌レリーフと前代を引き継ぐヒマラヤ杉が卒業生を見送る100年の歴史に、豊中高校をますます発展させることを誓うと結んだ。

(南里吉彦)



卒業式を終えて晴れ姿で職員室に戻る平野校長と3年担任だった先生方を豊陵会報がパチリ

76期生、晴れて入学式 4月2日、文化芸術センターで

コロナ禍の折から76期生の入学式が曾根・文化芸術センターで短時間のうちに行なわれた。

まず国歌がメロディのみで演奏されたのち、平野校長が「入学認定」の宣言。創立百周年の年に入学した76期生に期待を込めた激励の挨拶をした。

ついで新入生代表が入学の言葉を力強く述べ、担任の先生紹介があり、締めくくりは校歌のCDが流されて約50分間の入学式が終了した。

当初は卒業式・入学式ともに会場設営が大変な体育館の使用をやめて、市・文芸センターでの開催を検討したが、「卒業式は学校で」という声が強くなり、卒業式当日は卒業の3年生が教室から自分の椅子を運び込んで出席するという方法での卒業式。新入生にはそんな方法をとることもできないので、文芸センターの入学式になったとのことである。



高76期生、360名が合格 3月18日10時、コロナ下の入試合格発表

コロナ対策のため高76期生の入学試験合格発表は、昨年同様に北門・正門・南門と受験番号別に校庭への入場場所が指定された。受験票を持った受験生数名ずつが合格者番号の掲げられた教室へと入って行った。厳重な感染症対策により実施されていた。

「豊陵祭を見学して、とっても楽しそうな高校と思ったので」と娘の志望の動機を話してくれた保護者も高47の卒業生で、「豊高とまたご縁ができたこともうれしい」と付け加えた。今年度の選抜競争率は、定員360名に対して応募者552名、倍率1.53倍。今年も府下でも高い競争率だった。



校舎の入口で足止め。受験生徒からの報告を待つ保護者

令和2年度入試が終わり、合格者数の集計結果を別表に示しました。本校HPにも掲載しています。

今年度の結果を見るとまず目につくのは、京都大学合格数の大幅増加です。31年ぶりに2桁の合格者数となりました。また、東京大学合格も14年ぶりでした。現役・浪人合計では京都大・大阪大・神戸大の合格合計は81人となり、北大2人、東北大1人、東京大1人、名古屋大1人、九州大4人を含め、難関10大学に90人が合格するという結果となりました。コロナ禍における受験ということもあり、不安の多い年となりましたが目標に向けてしっかりと努力した結果だと思えます。

今年度入試より、「大学入試センター試験」は「大学入学共通テスト」になりました。時間・内容とも変わることが分かっていたこともあり、未知のテストへの不安感から昨年度の入試は「超安定志向」と呼ばれる現役進学者が多くなる年となりました。そのため、今年度入試は全国的に浪人生が少なくなる年と

なり、本校も例外ではなく、例年の浪人数の4分の3ほどになっていました。また、昨年2月からのコロナ禍の影響もあり、今年4月時点で73期生3年生の進路希望調査では、一人暮らしを必要とする大学・地方国公立大・私立大への進学希望者数が少なく、自宅から通学可能な大学の希望が多くなりましたが、共通テスト後の国公立出願も希望調査とほぼ変わりがありませんでした。このような理由から、国立の合格者数は昨年度より減少したと考えています。

合格し、本校の課題研究のレベルの高さを示す場となりました。私立大学の受験数合格数はある程度の変動はあるものの例年とそう大きな違いはありませんでしたが、理系学部の新設等の影響もあり、関西学院の受験者・合格者が増えたことが特徴かと思えます。またこの4月から開学する公立専門職大学の進学、気象大学校への進学のように、大学以外の道を進む生徒がいることも特徴的です。

コロナ禍・共通テスト初年度 不安の中、京都大学が大幅増

す。

73期現役生は全員が文理学科、最初の学年となります。全員が課題研究を行っており、それを利用した推薦入試での合格者数が今までより大幅に増えました。大阪大学5名、神戸大学2名他、合わせて12名が国立大学に合格しました。また関西学院の入試では、本校が進めているSGH（スーパーグローバルハイスクール）での課題研究の内容をプレゼンテーションするなどで選考されるSGH入試に、学部は様々ですが9人が

てくれるものと思います。

最後に、令和3年度も9月には豊高OBの方々をお招きして、職業別進路講演会を行なう予定にしています。新入生にとっても、文理選択および進路を考えていくうえで大変参考になり、かつその後の様々な活動の大きな動機付けにもなる大変意義深い行事です。豊陵会およびOBの方々にはいろいろとお世話になることと思いますが、どうぞよろしく願っています。

(進路指導室主事 日垣知也)

2021年 大学受験の結果速報

4月7日現在、進路指導部が把握した値を掲載しています。受験生徒からの報告の集計であり、今後到着する結果報告で数値が変わる可能性があります。確定数値は豊高HPや、3年生徒への「進路指導資料」(6月配布)で発表されます。

【国立大学】 旭川医科1(1)、北海道2(2)、東北1(1)、筑波1、東京1、東京学芸1(1)、横浜国立1(1)、信州1、名古屋1(1)、名古屋工業1、岐阜1(1)、滋賀1(1)、京都教育1(1)、京都10(4)、京都工芸繊維4(4)、大阪34(22)、大阪教育5(4)、神戸37(27)、奈良教育2(2)、奈良女子6(5)、和歌山3(2)、鳥取1(1)、岡山2(1)、広島1(1)、徳島1(1)、九州4。

【公立大学】 福島県立医科1、東京都立1(1)、横浜市立1(1)、都留文科1、長野県立1、静岡県立1(1)、滋賀県立2(2)、芸術文化観光専門職1(1)、京都市立芸術2(1)、京都府立3(3)、大阪市立22(17)、大阪府立14(9)、神戸市外国語6(5)、兵庫県立10(6)。

【私立大学】 慶應義塾2、上智5、専修2、多摩美術1、中央2(2)、津田塾1(1)、東京音楽1、東京理科4、東洋3(3)、法政3、武蔵野美術1、明治2(2)、明治学院1(1)、立教1(1)、早稲田5(2)、横浜薬科3(3)、南山1、長浜バイオ5(5)、大谷1(1)、京都外国語1(1)、京都産業12(11)、京都女子19(19)、京都薬科9(9)、京都橘7(7)、同志社149(83)、同志社女子18(18)、佛教1(1)、立命館186(122)、龍谷11(7)、大阪医科薬科15(15)、大阪音楽1(1)、大阪経済1(1)、大阪経済法科1(1)、大阪芸術1、大阪工業7(7)、追手門学院1(1)、関西132(98)、関西医科4(4)、関西外国語12(11)、近畿119(89)、摂南5(4)、千里金蘭2(2)、関西学院145(113)、大阪総合保育1(1)、甲南15(9)、甲南女子2(2)、神戸女学院4(4)、神戸薬科4(4)、武庫川女子28(27)、神戸常盤2(2)、大和15(11)、川崎医療福祉1(1)。

【大学校】 気象大学校1(1)。

()内は現役合格者数

令和3年度 教職員の人事異動

4月1日付で府教職員人事異動が発表された。豊中高校で再任用となった方を除き6名の教職員が他校に転出され、新任2名・他校より3名・大阪府警察より1名の計6名の先生が新たに豊中高校に転入された。100周年記念事業実行委員会式典部会長の副部会長を務められた上林卓也首席は保健体育科教諭に再任用され、数学科の宮野淳一教諭が新たに首席になられた。【なお任期更新などで再任用になり継続して豊高の教壇に立たれる方の名前は掲載していません】

■転出

▼国語=繁内一之(再任用・高槻北へ) ▼地歴公民=千住健太(阿武野へ) ▼数学=畠田かおる(非常勤で八尾北へ) ▼理科=文部一希(桜塚へ) ▼英語=柿本充博(北摂つばさへ) ▼養護助教諭=日下部尚子(任期更新・臨任で豊中に) ▼主査=二子石知恵(桜塚・定へ)。

■転入など

▼国語=藤原太郎(淀川清流から) ▼地歴公民=古本篤嗣(臨任講師)・矢野啓太(島本から) ▼数学=松尾昌幸(北千里から) ▼理科=中島聡志(新任) ▼保健体育=江口英子(臨任講師)・上林卓也(教諭として再任) ▼英語=岸本健吾(臨任講師)・田中裕二郎(新任) ▼主査=森岡茂樹(大阪府警察)。

食堂もコロナ感染予防対策

昼食時間は食堂として使用される豊陵ホールのテーブルごとにコロナ感染予防対策として隣の席とを仕切るパーテーションが作られた。

豊高では弁当持参の生徒が多数を占め、食堂の経営は大苦心。規定で決められている毎年の契約更改はそのつど難航している。



豊陵会 2020年決算及び2021年予算

2020年豊陵会一般会計決算

収入の部	決算	予算	支出の部	決算	予算
前期繰越収支差額	9,763	9,763	豊陵会報発行費	7,574	8,000
			総会開催費	0	1,300
豊陵会協力金	4,830	5,000	学校行事支援金	530	530
一般会費収入	3,204	3,220	卒業記念品贈呈費	326	330
寄付金	326	300	豊陵会報部会	173	150
会報広告収入	299	800	豊陵資料室	105	110
総会出席会費収入	0	900	IT推進部会	0	100
総会時販売等収入	0	200	東京支部補助金	150	150
利息収入	1	1	中部支部補助金	100	100
雑収入	10	5	事務局費	2,576	3,140
			諸会議費	588	1,300
			事務機器使用料	426	500
			事務用品備品購入代	249	500
			事務局光熱費	127	120
			電信電話料	101	140
			通信費	179	400
			交通費	1	50
			慶弔費	0	40
			振込手数料	234	300
			雑費	0	10
			100周年記念準備費	989	1,000
			次期繰越収支差額	4,001	1,919
計	18,435	20,189	計	18,435	20,189

2020年は豊陵会総会を中止したため「総会出席会費収入」「総会時販売等収入」及び「総会開催費」は「0」となりました。

貸借対照表 (2020年12月31日現在)

資産の部		負債及び正味財産の部	
現金	90	負債の部	
郵便振替	9,487	未払金	4,237
普通預金	1,545	正味財産の部	
定期預金	12,035	運営準備金	3,000
仮払金	100	積立金	12,021
		次期繰越収支差額	4,001
		(内当期収支差額)	(-5,762)
		小計	19,022
合計	23,259	合計	23,259

負債の部 未払金は百周年記念事業加古隆コンサートのチケット代金です

2020年豊陵会記念事業特別会計決算

収入の部	決算	支出の部	決算
受取利息	0	記念準備費	1,518
計	0	収支差額	-1,518
		計	0

「記念準備費」151.8万円は豊陵ホールの設計費用です。

貸借対照表 (2020年12月31日現在)

資産の部		負債及び正味財産の部	
現金	0	負債	0
普通預金	17,038	前期繰越収支差額	18,556
計	17,038	当期収支差額	-1,518
		計	17,038

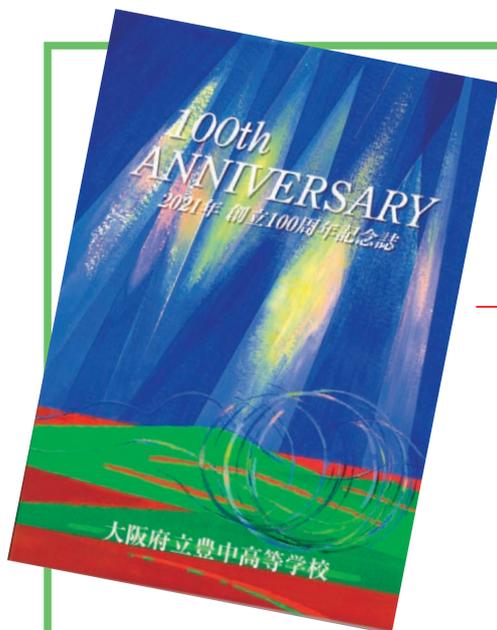
2021年豊陵会一般会計予算

収入の部	予算	前年度予算	支出の部	予算	前年度予算
前期繰越収支差額	4,001	9,763	豊陵会報発行費	4,000	8,000
			総会開催費	1,300	1,300
豊陵会協力金	4,900	5,000	学校行事支援金	530	530
一般会費収入	3,150	3,220	卒業記念品贈呈費	330	330
寄付金	300	300	豊陵会報部会	200	150
会報広告収入	400	800	豊陵資料室部会	110	110
総会出席会費収入	700	900	IT推進部会	100	100
総会時販売等収入	100	200	東京支部補助金	150	150
利息収入	1	1	中部支部補助金	100	100
雑収入	5	5	事務局費	2,500	3,140
			諸会議費	800	1,300
			事務機器使用料	500	500
			事務用品備品購入代	500	500
			事務局光熱費	120	120
			電信電話料	140	140
			通信費	400	400
			交通費	50	50
			慶弔費	40	40
			振込手数料	300	300
			雑費	10	10
			100周年記念準備費	1,000	1,000
			予備費	377	1,919
計	13,557	20,189	計	13,557	20,189

「豊陵会報発行費」は1回の会報発行を計画しています。(2020年は2回発行でした)

●会員数(2021年4月末日現在)
 卒業生数 37,390人/旧職員 864人
 現職員 109人/連絡可能者数 21,830人
 ●会報発行部数
 発行部数 23,500部/会員発送数 22,300部/学校配布 1,200部

編集発行 豊陵会報編集部(大阪府立豊中高等学校・豊陵会事務局内)
 発行 令和3年6月28日 発行人 高坂 敬三
 事務局 〒560-0011 豊中市上野西2丁目5番12号(大阪府立豊中高等学校内豊陵会)
 ☎(06) 6849-4973(FAX兼用) ホームページ <http://www.houryou.org>
 メールアドレス office@houryou.org または kaihou@houryou.org
 デザイン 風屋合同会社 印刷 株式会社廣済堂



あなたの心に残る—— 「創立100周年記念誌」

トヨチュウ・豊高の1世紀を記録

ぜひ、お求めください。部数限定です。
1冊・送料とも5,500円

※複数冊のお申込みでも1冊ずつの包装郵送になります。
※手渡し、事務局での現金購入は5,000円。

■ 424項目、年代順の「できごと」記事

100年の歴史をどこからでも読み出せる編集スタイル

- ・大正10年2月23日 豊中村、府立第十三中学校の用地取得に動く／3月30日 最初の入学試験は北野中学で／令和2年8月20日 豊陵ホール完成／ヒマラヤ杉の見てきた100年、そして…。

■ 卒業生会員の寄稿もある12編の「コラム」 当事者だから知っていたエピソード満載

- ・豊中市立高等女学校の略史／6年間の豊陵生活を送った生徒たち／高校アメフトの歴史／戦後民主主義と『豊陵新聞』／旧制中学から高校に引き継がれたハンドボール／むかし『家庭科クラブ』があった／白秋・耕稼コンビの校歌／生徒自治会と豊中高校／豊高の校章／野球部の歴史／豊陵資料室の誕生／校庭を散策してみると…。

■ 豊陵会・PTA・豊友会の歴史と現在

■ 写真ページ 豊中高校のいま、部活紹介

■ 資料編

- ・歴代校長／教職員一覧／
旧制豊中中学・新制豊中高校卒業生数／
部活動変遷



▼下記まで、お申し込み・送金をお願いします。

郵便振替口座 00990-7-282876 豊中高校創立100周年記念事業実行委員会
※卒業期・お名前・郵送先住所・冊数を払込票に明記願います。

三井住友銀行 豊中支店（普通）7410694 豊中高校創立100周年記念事業実行委員会
※卒業期・お名前・郵送先住所・冊数をメールまたは電話で事務局に連絡願います。
(いずれも振込手数料はご負担をお願いします)

編集発行 大阪府立豊中高等学校創立100周年記念事業実行委員会